

答

当市の脳血管疾患の死亡率は国県より高い。医療費において高血圧性疾患の医療費は、上昇している。

がん患者への支援充実について

問

就労支援と社会参加の観点から、抗がん剤などで脱毛した患者に対して医療用ウィッグの購入助成をしてはどうか。

答

検診で早期発見、早期治療につなげたい。国の動向に注視している。

ゲリラ豪雨の備え強化について

問

道路のアンダーパス冠水対策についてはどうか。



建設中の新保裏館線・信越本線アンダー工区

答

対策として降雨量が1時間に10ミリ以上、または3時間で40ミリ以上の場合、職員を招集して現地を確認し、必要に応じてバリケードにより通行止めを実施する。

問

エアード断機を設置できないか。他市の試験運用の状況等を見ながら検討する。

答

施設管理・利用・更新について。維持管理費は市が負担する。市として営業用ではないので、販売目的の利用はできない。更新は古民家の活用を含め多様な検討をしている。

農産物加工施設について



三条市農産物加工施設

市民への周知・コンセンサス

問

市の事業実施に伴う市民への周知・コンセンサスは十分なされているか。

答

全ての市民のコンセンサスを得るのが理想だが非現実的である。総体としての民意を見極め、ぶれることなく貫くことが重要である。



バイオマス発電所予定地

市の入札制度について

問

最低制限価格・予定価格・低入札について。

答

適切な最低制限価格となっている。予定価格は、三条市の実態を勘案し設定している。低入札はない。

答

文字の大きさや色などに配慮しながら文書等を作成している。

女性活躍推進法が施行されるが、市の行動計画は？

問

職員の昇任試験の実態はどうか。

答

過去5年間の男女比は、課長補佐級昇任試験受験者のうち女性は8%、合格者10%。保育士以外の係長級昇任試験受験者のうち女性は4%、合格者6%という状況だ。

問

採用は女性が半数以上占めているにもかかわらず、昇任試験の低受験率についての対策はどうか。

答

多くの女性職員が責任ある立場に就くことを望んでいない。仕組みとしては整備してある。登用は男女の性別が問われる必要はない。

職員の自衛隊研修はやるべきではないか

問

安法法制の審議中であるが、自衛隊の方向が百八十度変わる恐れがある。研修させる意味は何か。

答

指揮命令系統の下、立場と責任をわきまえ役割を果たす必要性を意識付けるため実施している。職員に求められるのは自分の頭で

次期経営戦略プログラムについて

問

あるべき正職員数・人事考課の見直し、包括的民間委託の費用対効果は。

答

職員数は仕事により変化する。人事考課は職員に対し十分説明し、理解を得て見直す。費用対効果は、人口の少ない地域の切り捨てではない。

若年層職員の退職について

問

原因と研修等の業務への影響は。個人的事情によるものである。研修等による業務への影響はない。

答

三条市の政策、施策をどのように市民に理解を求めていくか

問

政策、施策の推進に当たって「行政」と「市民」、「公」と「私」の対立関係ではなく、協働も含めてどのように説明、広報広聴していくのか？議会の権力はあることにはあるが結果として執行権は絶大である。だからこそ、執行側にはある種の謙虚さが必要である。市民への周知、理解促進、啓発は丁寧な態度が求められる。

答

考える力ではないか。上司の命令に忠実に従うことは当然大事なことだ。

問

憲法違反といわれる安法案に対する市長の見解はどうか。

答

国の専権事項である国防に関することで、市長の立場で表明することは差し控えたい。



行進距離は告げられず黙々と：自衛隊HPより

障がい者雇用の促進について

問

障がい者雇用の具体的な誘致はどうなっているのか。

看護系高等教育機関について

問

市は准看護師・2年看護師・3年看護師の教育を進めると発表している。現状と今後をどのように考えるのか。

答

看護系高等教育機関の誘致または設置でいくのか検討を重ねた結果、運営を委ねることが可能な事業者と出会うことができ、協議をしている。現時点では公設民営の形が適当と考える。

視覚障がい者への情報提供について

問

人生90年時代となり、視覚障がいがあっても新しい情報を得ることは大切。情報提供はどのように行っているのか。



現在の大崎中学校の校門と校舎

問

大崎中学校の建設予定地から遺跡が発見され、その調査のため中学校の開校が遅れるとした。看護系学校の開校予定はいつか。

答

遺跡発掘調査のため大崎中学校区小中一体校の開校が1年遅れることに伴い、早ければ平成31年4月の開校と考えている。